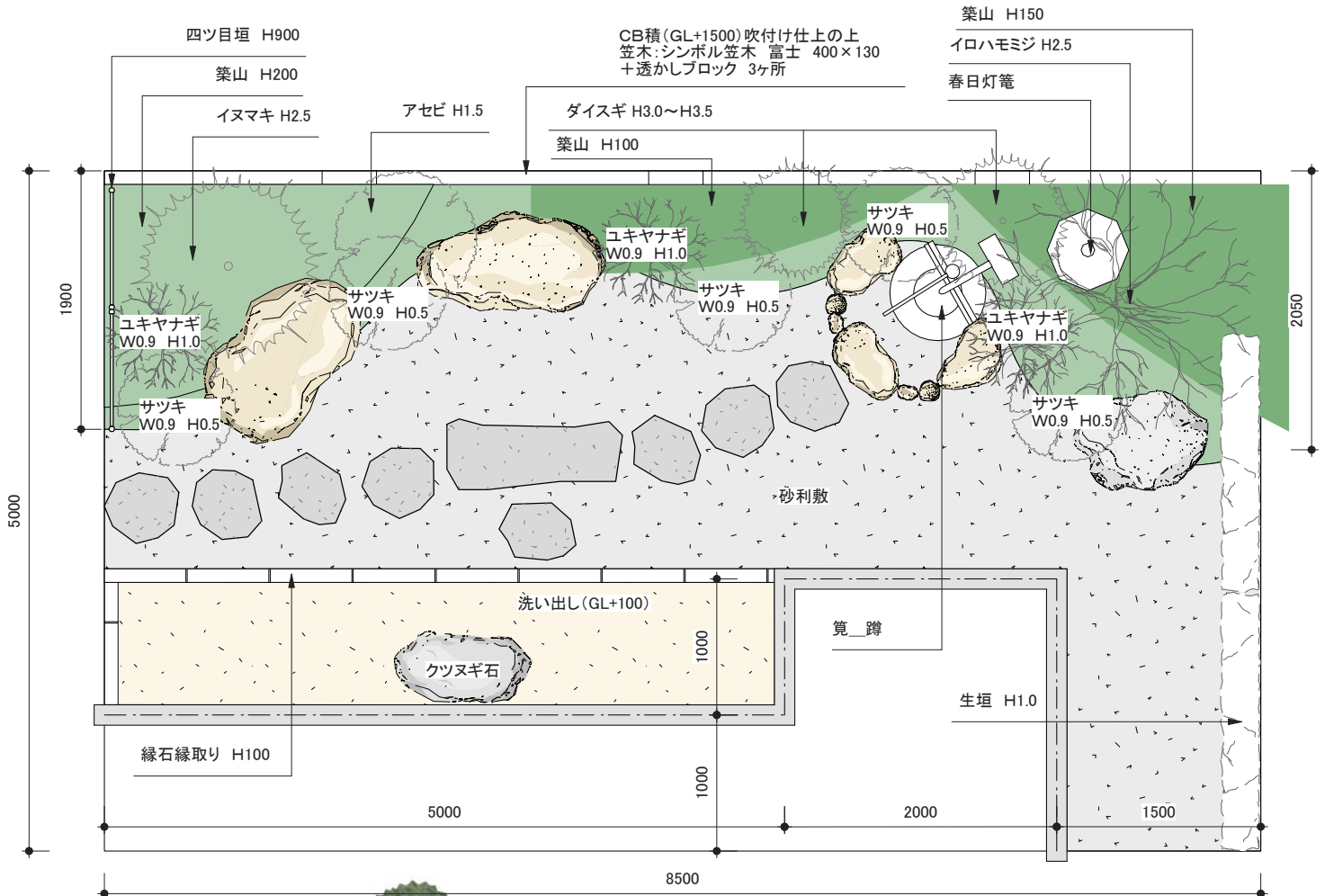


# 練習プラン4 下図のプランを作図してみましょう。

縮尺：1/50の図面です。

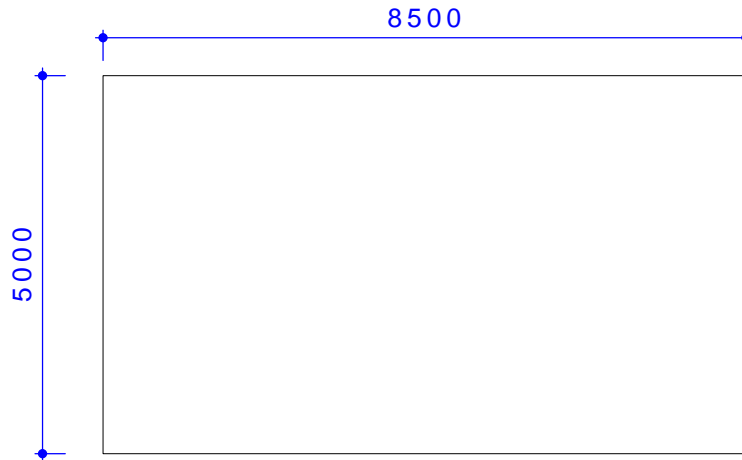
立面図・パースはArt仕上げとなっております。

**!** わからない時は「webマニュアル テキスト eE-CAD9 各仕様の練習プラン4」をご参照下さい。



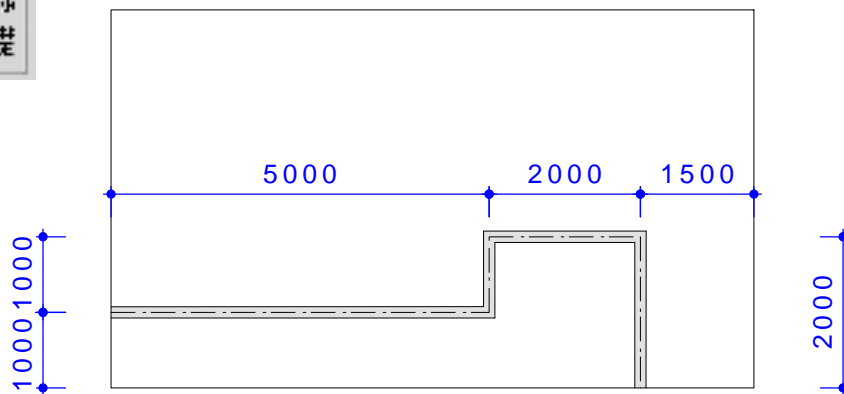
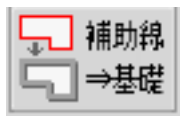
# 造園スペース作成

敷地地型を使って造園スペースを作成します。



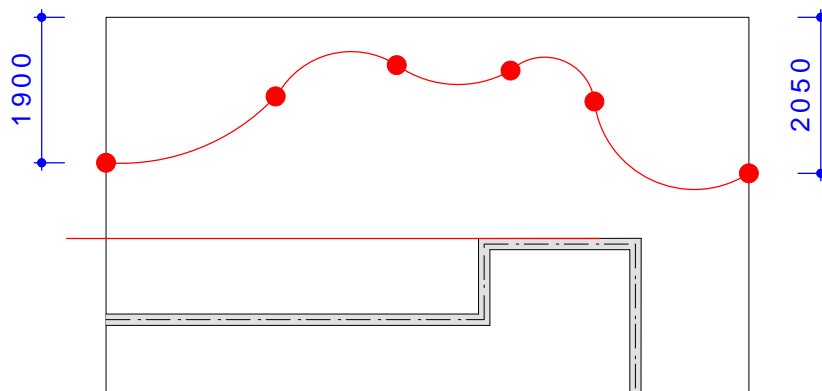
## 基礎入力

基礎形状を補助線で入力し、基礎に変換します。



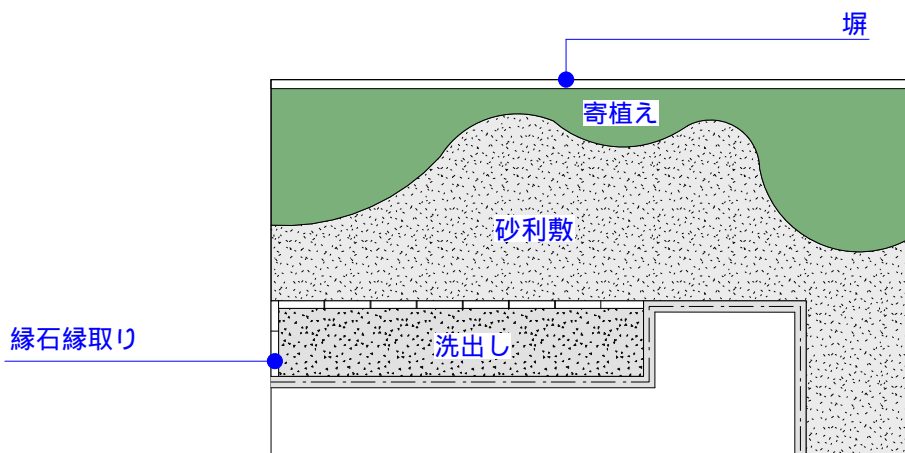
## 補助線入力

築山、砂利、犬走りの境界ラインを補助線で入力します。



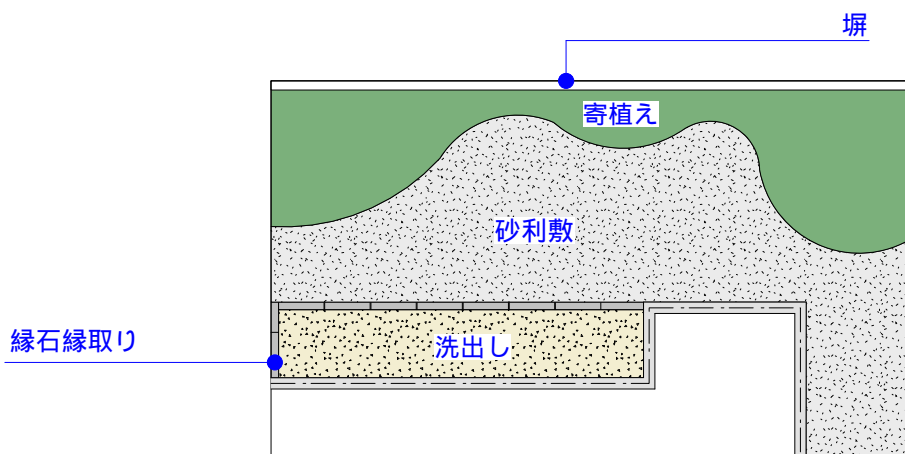
# ユニット入力

塀、床、製品の各ユニットを入力します。



# ユニット色変更

入力済みのユニットの色を希望の色に合わせて着色してみましょう。



カラーパレット表示

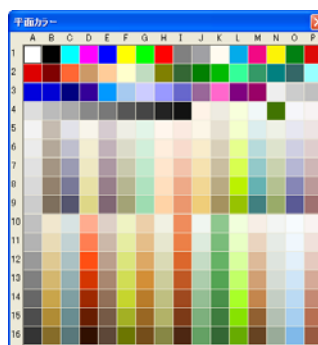
カラーパレットを表示させます。

表示メニュー

平面カラーパレット

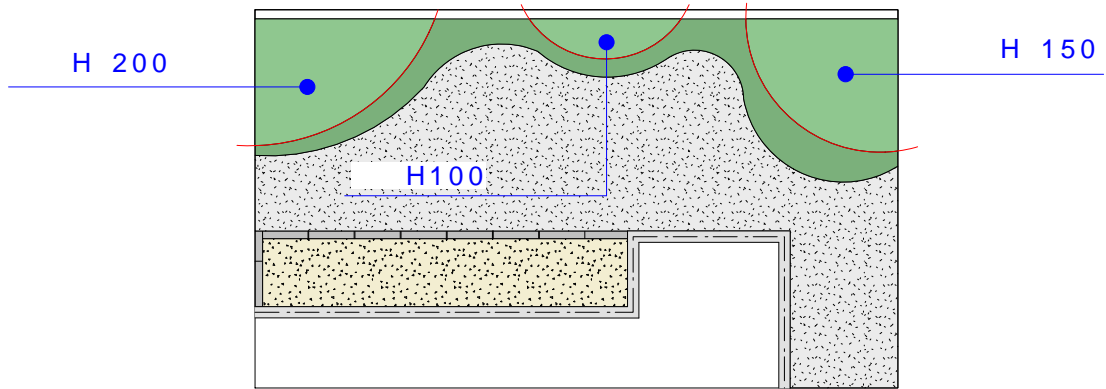
着色

色を選択しドラッグでユニットに色を挿入します。



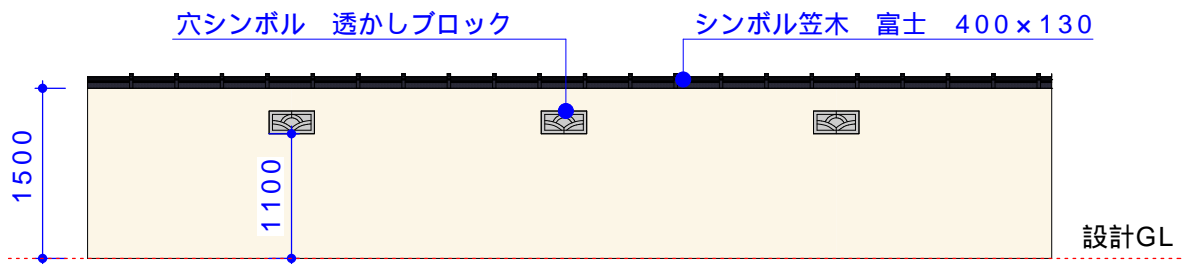
# 築山作成

新たに補助線と床ユニットを入力し『切土・盛土変換〔1点〕』で築山の設定を行います。



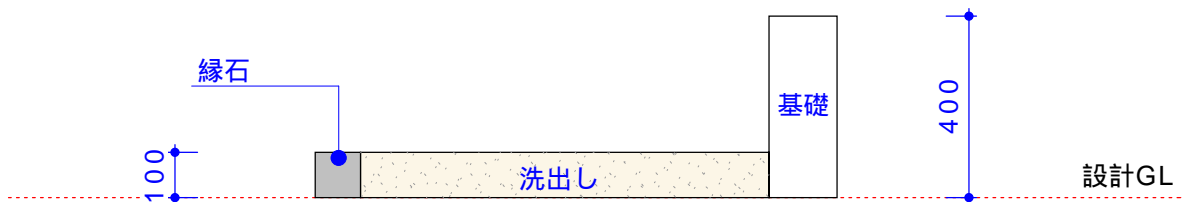
# 塀設定

塀を下図の設定に変更します。



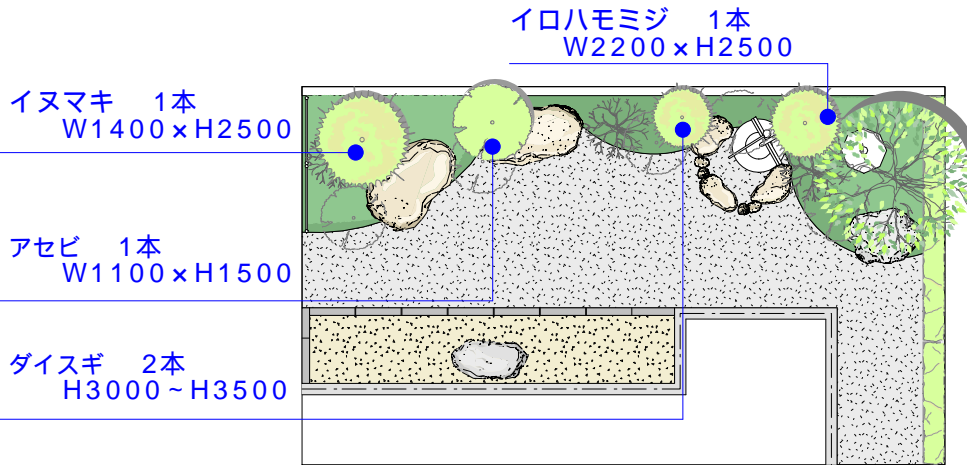
# 犬走り設定

犬走りを下図のように設定します。



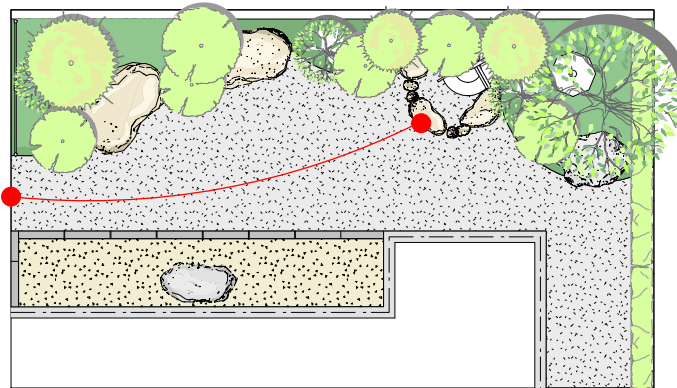
# 高木配置

高木を選択し入力します。



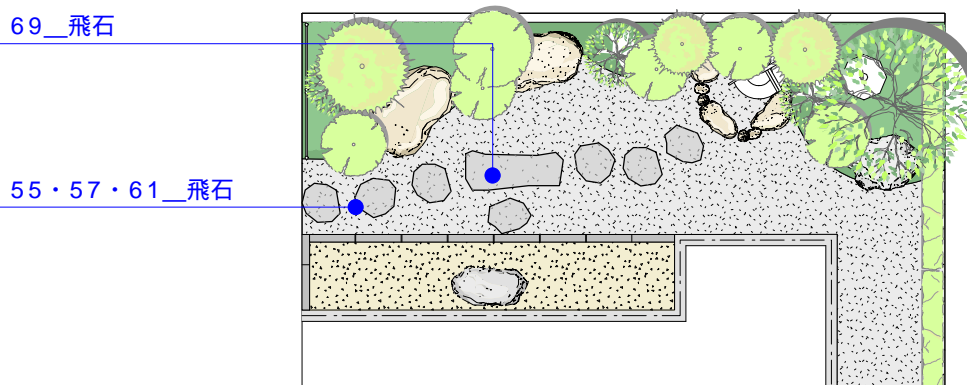
# 補助線入力

飛び石を並べるラインを入力します。



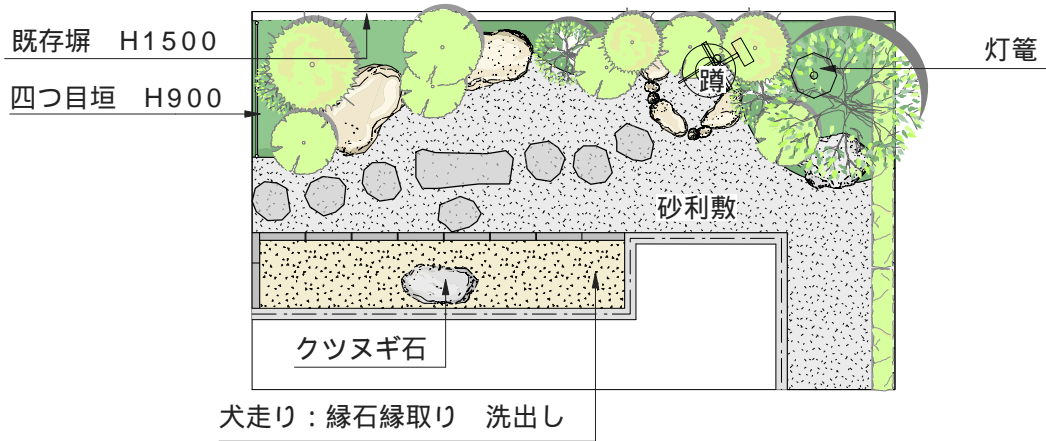
# 飛び石入力

『Ctrl』キーを押しながらドラックし飛び石を補助線に添って配置します。『配置位置』を設定して千鳥に入力してみましょう。



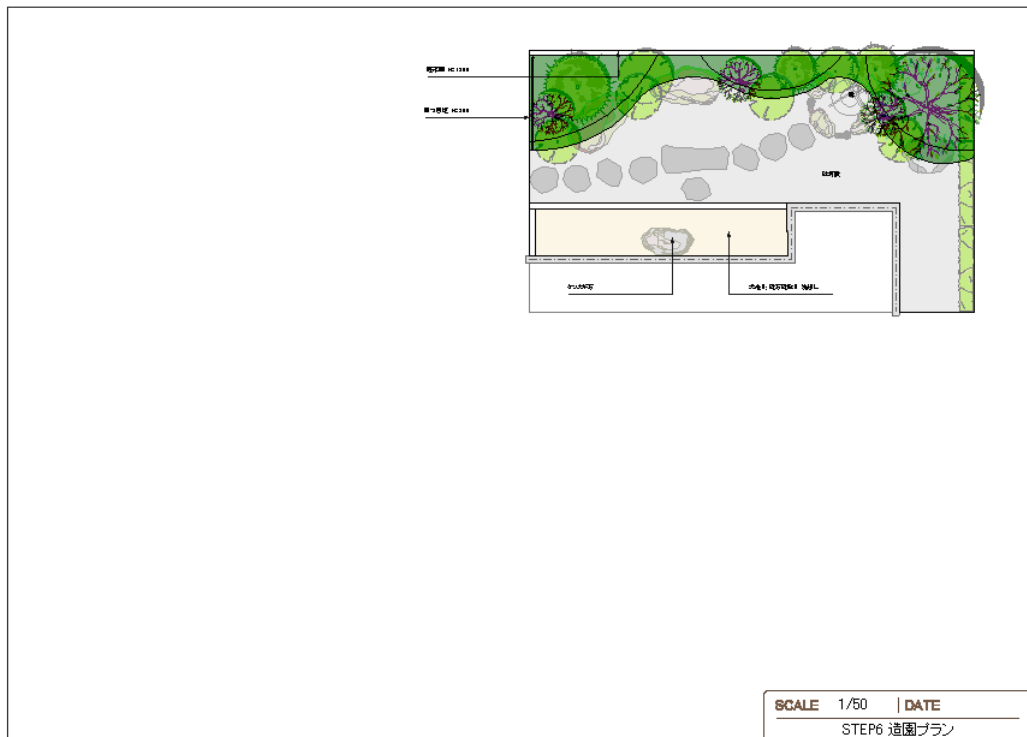
# 注釈入力

下图の注釈を入力しましょう。



# 図枠入力

図枠を入力し物件名を記入します。

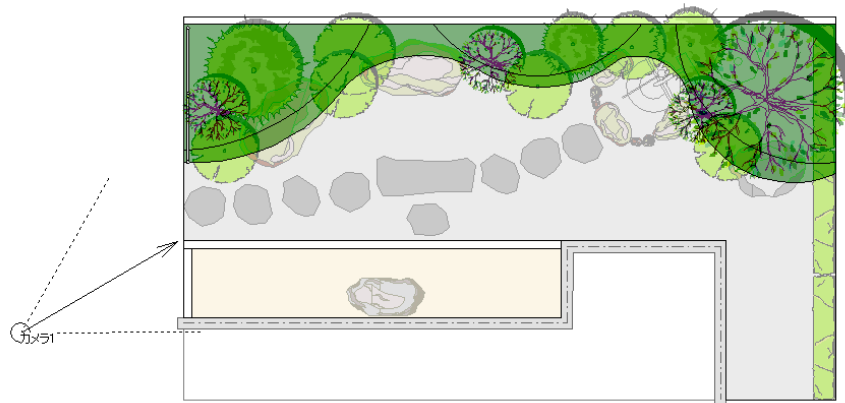


# カメラ配置 ~ eE-Painter起動

パースアングルの目安を決め仕上げ画面に移りましょう。 ~eE-Painter仕上げ~  
アーレンダー仕上げは **練習プラン4-14~**を参照

## カメラ配置

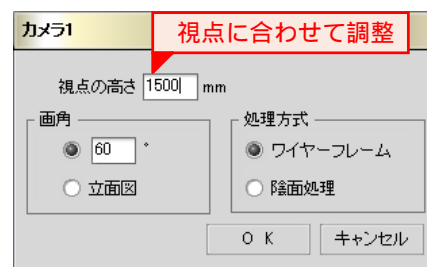
カメラの配置位置を決定します。矢印の場所に注意をして配置しましょう。



## カメラ設定

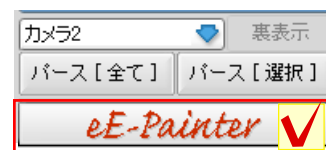
カメラ位置決定後、使用する視点に合わせてカメラの設定をします。

## 【イメージパース】



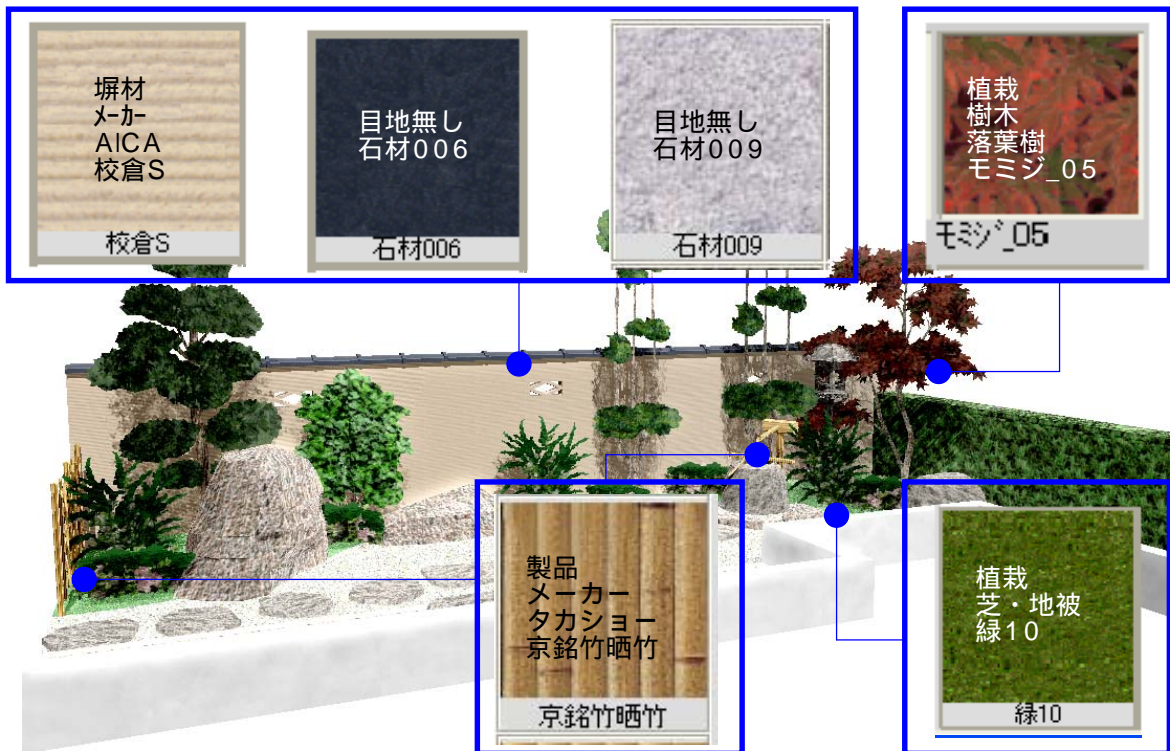
## eE-Painter起動

必要なカメラを全て配置後eE-Painterを起動します。



## テクスチャ設定

下図を参考にテクスチャを貼り付けてみましょう。



## 視点設定

パンカーソルを使って下図を参考に視点の変更を行ってきましょう。



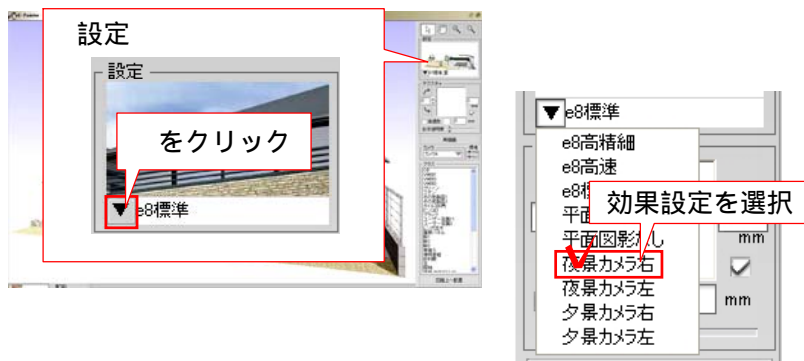


# 効果設定

光と影の設定を行い立体感を出しましょう。



**効果設定：** 昼・夜・平面図用の光源を設定できます。



**-1 レンダリング設定：**

登録されている初期設定を選択することができます。

**-2 背景設定：**背景の表示設定です。

カラー：グラデーションの2色を設定します。  
テクスチャ：背景にテクスチャを使用します。

**レンダリング設定の概要を説明します。**

詳しい説明は、デジタルマニュアル内の  
リファレンス eE-Painterをご覧ください。

**-4 影：影の濃さ**  
チェックが付いている仕様の図形に影がつかます。

**-5 太陽の位置：光源の位置設定**  
自動：カメラ位置に対して自動で太陽を作成します。  
手動：太陽の位置、高さ、色などの設定ができます。

**位置設定：**  
ボタンまたはスライダーで調整

**高度設定：**  
ボタンまたはスライダーで調整

**色設定：**  
をクリックして色を選択  
スライダーで色の強さを調整

**-6 アンチエイリアス：**  
画像のギザギザを目立たなくします。

**-7 スムージング：**  
図形の角を滑らかにします。

**-8 反射：**  
ガラスや鏡などが反射する回数を指定します。

**-9 レンダリング効果設定を：**  
ファイルから開く：保存してある設定を開く  
ファイルへ保存：現在の設定を保存

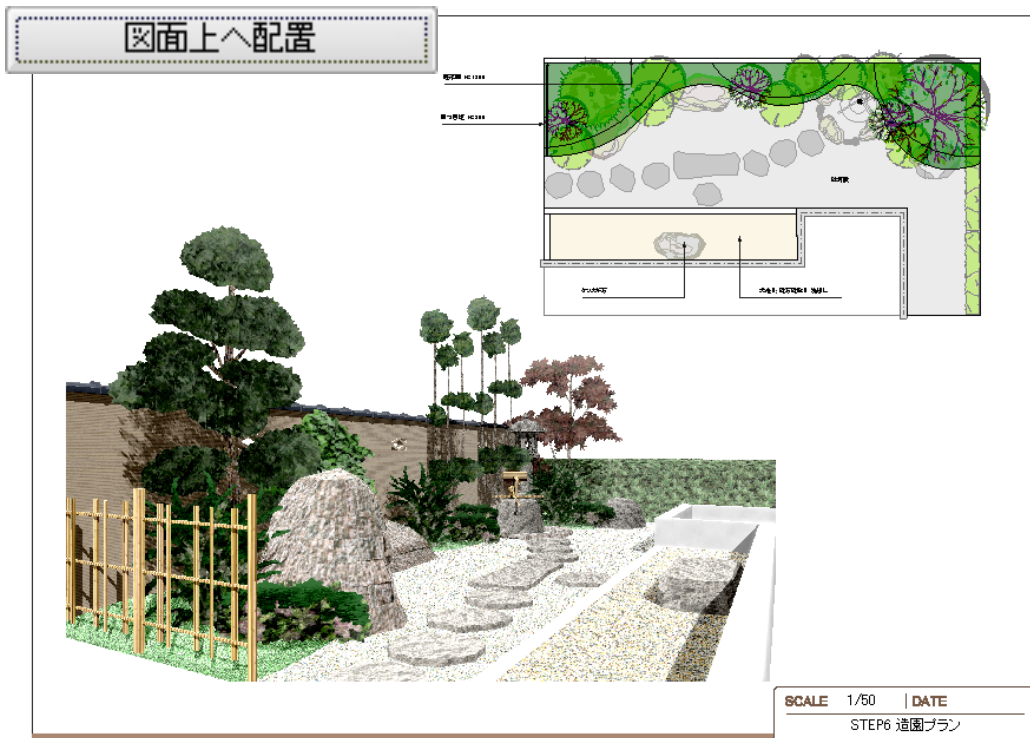
**共通：**

**スライダー：** 右へ行く程効果が強くなります。ドラッグで動かします。

**ON/OFF：** ボタンをクリックすると効果のON/OFFを切替えます。

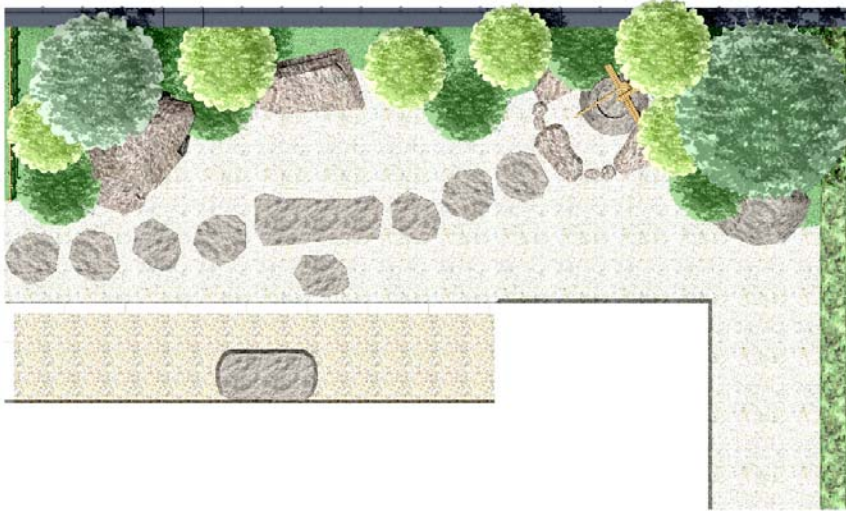
# パースレイアウト

パースと平面図の静止画像を図面上に配置しレイアウトします。



# 平面図編集～レイアウト

視点を平面図に変更し植栽平面図の入れ替えを行います。



**効果設定：** 視点を平面図にし、平面図用の効果設定にします。

画面右上の「設定」の をクリック  
します。

「平面・立面影あり」を選択します。

「再描画」をクリックすると視点が  
変化します。



**平面図編集：** 植栽平面図を入れ替えます。

ライブラリから植栽平面図を選択し、ド  
ラック&ドロップで入れ替えます。

06\_植栽 平面



# プレゼン印刷

---

平面図を静止画像で印刷する際の印刷設定です。

注釈のみ表示

注釈レイヤのみを印刷できるように設定します。

表示メニュー

注釈のみ表示

用紙サイズ確認

図面の用紙サイズと縮尺の確認を行います。

ファイルメニュー

用紙の大きさ

プレビュー

印刷のレイアウト状態を確認します。

ファイルメニュー

プレビュー

印刷

印刷を実行します。



# 描き出し～アーレンダー起動

印刷用データと仕上用データを作成しアーレンダーを起動してみましょう。  
～アーレンダー仕上げ～

描き出し

作成したeE-CADデータを  
VectorWorksに描き出します。



! 描き出しボタンがない場合は『VectorWorks』から再度起動してください。

作業画面切り替え

画面上の画面登録ポップアップから『アーレンダー仕上』画面に切り替えます。

3Dペインター/線画立面  
CGペインター仕上  
アーレンダー仕上  
レイアウト  
仕上印刷



取り出し

アーレンダーに取り出します。

ファイルメニュー

取り出す  
アーレンダー

CAD終了

VectorWorksを終了します。

ファイルメニュー

終了

アーレンダー起動

アーレンダーを起動します。



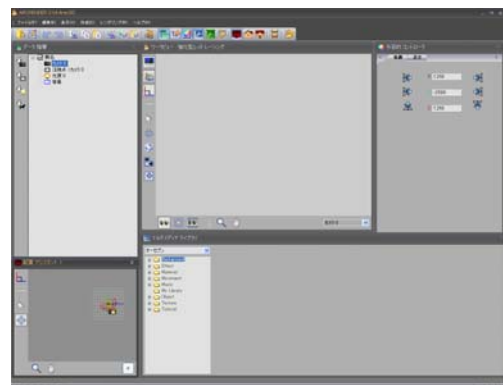
ARORENDER  
Aren

データを開く

仕上げ用データを開きます。

ファイルメニュー

開く



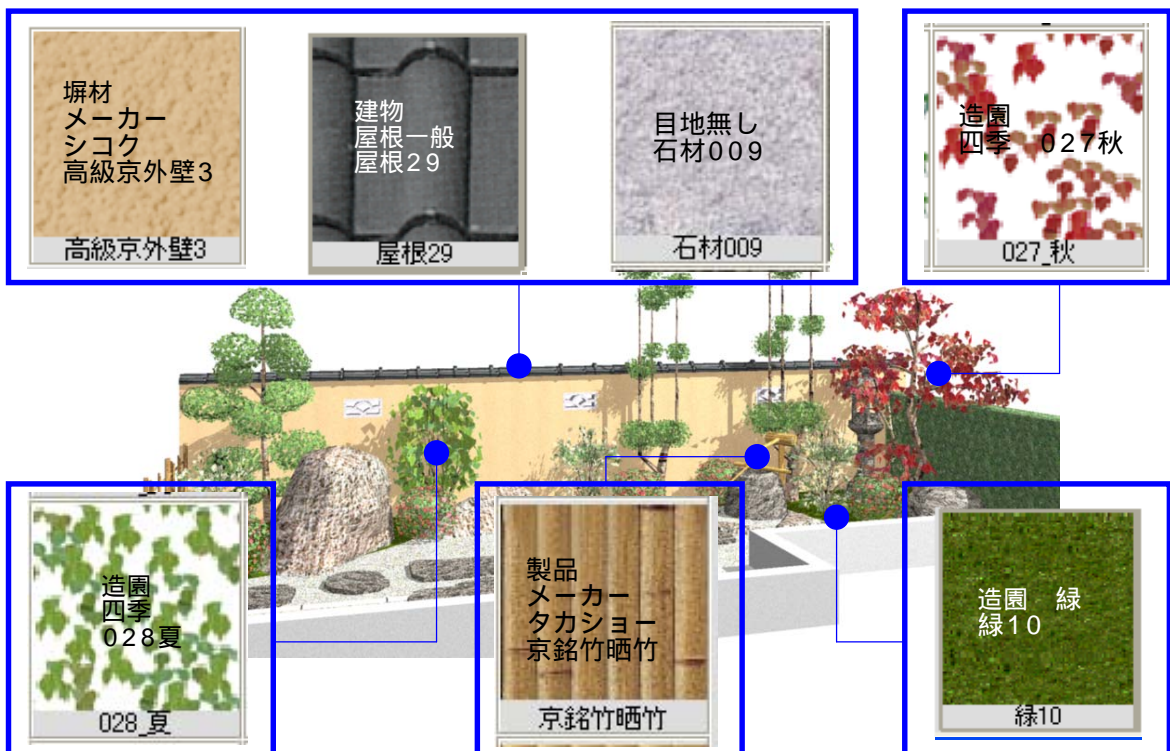
# 視点&光源設定

多目的コントローラーでカメラの設定後下図を参考にカメラと光源を配置してみましょう。



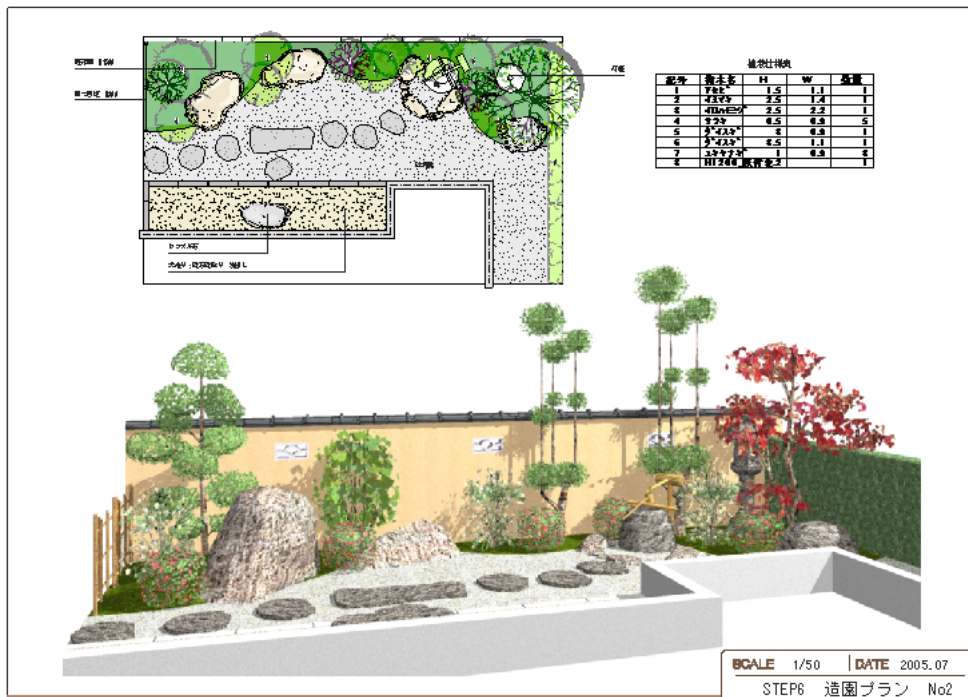
# テクスチャ & 背景設定

下図を参考にテクスチャを貼り付けてみましょう。



# レンダリング～レイアウト

静止画像を作成し印刷用データにレイアウトします。



## レンダリング

静止画像の作成し保存します。

## レンダリングメニュー

今すぐ静止画像レンダリング

## ファイルを開く

VectorWorksを起動し印刷用データを開きます。



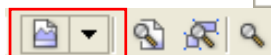
## ファイルメニュー

開く

## 作業画面切替

レイアウト画面に切り替えます。

3Dペインター/線画立面  
CGペインター仕上  
アークレンダラー仕上  
レイアウト  
仕上印刷



## 画像の取り込み

静止画像を印刷用データに取り込みます。

## ファイルメニュー

取り込み  
イメージファイル